

札幌国際大学 生涯学習センター

社会人教養楽部 2024

SYAKAIJIN KYOUYOU GAKUBU

「つながる」と、
まなびはもっと「ひろがり」
人生がもっと「たのしく」なるー！



札幌国際大学では、地域貢献・生涯学習支援として、本学の教育資源をもとに地域の皆様へ学習機会を提供する、公開講座を開講しています。

人生100年といわれる現在、地域の方々一人ひとりにとってのライフステージを自ら設計し、主体的に生きることが求められています。そのためには健康で生きがいのある生活の実現、経済的自立、現代社会への適切な対処、地域社会とのつながりの構築など、幅広い内容について、人生の様々なステージに応じて継続的に学ぶことが必要です。

札幌国際大学では、地域の皆様の学びを支援する生涯学習事業として、平成18(2006)年から「社会人教養楽部(しゃかいじんきょうようがくぶ)」を実施しています。開設当初は年間21科目を開放して延べ40名の受講となり、その後も本事業への支持をいただきながら多くの方々に受講していただきました。

2024年の春学期(4月~7月)、秋学期(10月~翌年1月)は、コロナ禍以降再開した、社会人受講生限定「語学特別クラス(英語クラス)」開講のほか、正規授業の公開型講座「学生と学ぶ共学クラス」の科目も複数開講し、知識・教養を深める学びに積極的な受講者が増えました。

※1. 「社会人教養楽部(しゃかいじんきょうようがくぶ)」: 社会人受講生の方々が、学びの他に、学びを通じた学習縁による多様な活動も楽しむという意味を含め、「楽」を「がく」と呼んでいます。

※2. 毎年の受講者数変遷は当生涯学習センターホームページ各年度の「これまでの活動の記録」をご参照ください。

実用英会話 レベルにより3クラス キーワードは共に学ぶこと!

◎「実用英会話」(入門クラス)

担当:デントン・ルーカス先生

受講生同士での会話に励む皆さん。
和気あいあい、しかし熱心に、努力される様子も。

先生が適宜、グループを回り、受講生の質問に応じ、会話の舟が進むようサポートされています。

先生が見守る中、「英語を学ぶ楽しさ」が、皆さん全体から伝わるクラスです。



◎「実用英会話」(初級クラス)

担当:藤垣エミリア先生

持ち回りで受講生が経験談を発表する様子です。

先生も受講生側の席に座り発表を聴きます。例え発表途中でも先生からアドバイスを受けることができ、説明に使った単語に間違いはないか、助言を受けつつ発表は進みます。

周りの受講生たちも、先生に確認をしながらのやり取りはお互い様のように、示された単語やフレーズは勉強になると、聴き入る姿勢でした。

受講生の話しに興味を湧かせて楽しみ、新しい単語や先生の指導・講評を聴いて共に学ぶ様子が見られました。



◎「実用英会話」(中級クラス)

担当:コクスフォード・リチャード先生

「いい雰囲気ですね。皆さんは次のディスカッションとプレゼンテーションを楽しみにしているみたいです。」と先生。

受講生は、先生が入念な授業準備をされて臨んでおられることを知っています。

「難しいがその分、力が付く」「質の高い素晴らしい授業」「受講生のレベルも毎回考慮して下さる」ハイレベルな授業に「英会話上級」との声も。

先生を信頼し、授業に熱心についていく受講生。

和やかな関係は授業風景からも垣間見えます。



学生との共学クラス 2024

◎「ガーデニング演習」
担当:吉崎俊一郎先生



「学生との共学クラス」の1科目、人文学部心理学科臨床心理専攻1年授業「ガーデニング演習」。本学のイネーブルガーデンにて、日差しの下で花壇の管理など各々作業にあたる社会人受講生。

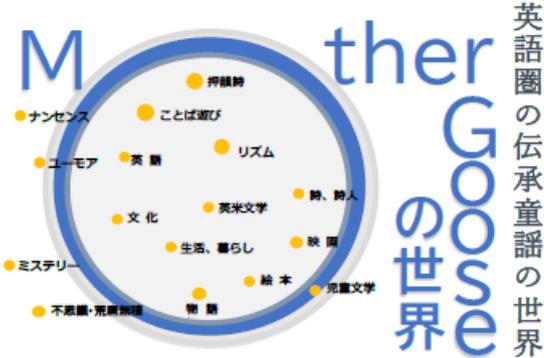
学生と共に授業を受ける「学生との共学クラス」は春学期、秋学期ともに7科目が開講。コロナ禍以降の開講に、多くの一般の方が受講しました。

学生との共学クラス科目	
春学期科目名	秋学期科目名
芸術論Ⅰ	芸術論Ⅱ
ガーデニング演習	生活と園芸
世界史	地誌概論
アジア観光論	世界の観光地
観光地理	北海道の文化Ⅲ
人間と文学	CLILⅡ
運動生理学	考古学



単発の公開講座 2024

一般の方や本学の社会人受講生を対象に、対面による公開講座「Mother Gooseの世界 英語圏の伝承童謡の世界」を開催



英語圏の人々の生活に深く入り込み親しまれてきた伝承童謡マザーグースの魅力について、公開講座(全6回)を開催しました。(講師 富田敏明先生[元札幌国際大学人文学部現代文化学科教授、本学非常勤講師、マザーグース学会会員])

- 第1回目 マザーグースの世界 —その魅力— 2024年10月16日(水)
- 第2回目 不思議な唄、ナンセンスな唄 2024年10月23日(水)
- 第3回目 子守唄、遊戯唄 2024年10月30日(水)
- 第4回目 男の子、女の子の唄 2024年11月6日(水)
- 第5回目 奇妙な人物の唄 2024年11月13日(水)
- 第6回目 お菓子・食べ物唄 2024年11月20日(水)



札幌国際大学生涯学習センタートップページでは、地域にお住いの皆様へ、春と秋に受講生を募集する「社会人教養楽部」の受講生募集や、単発の公開講座の開催案内など、生涯学習センター事業に関する広報を掲載しています。どうぞご覧ください。検索時はこちら↓



札幌国際大学 生涯学習センター



2024年度(令和6年度)社会人教養楽部 受講者の概況

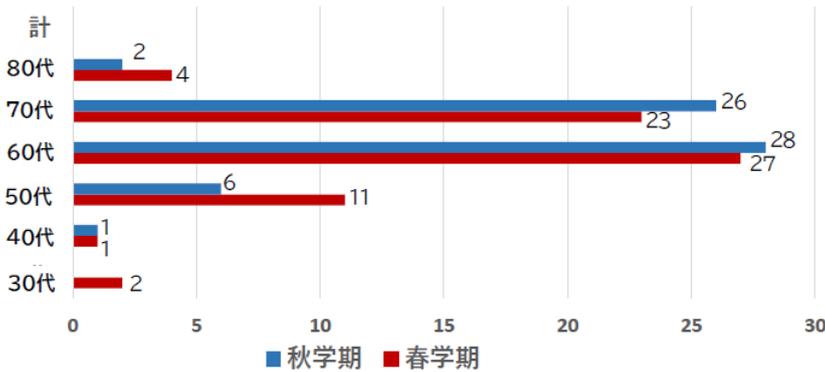
◆社会人教養楽部受講者概況

	開放科目数	受講科目数	実受講者数	延受講者数	平均年齢
春学期	10科目	10科目	68人	87人	51.3歳
秋学期	11科目	10科目	63人	79人	65.4歳

【受講者内訳】

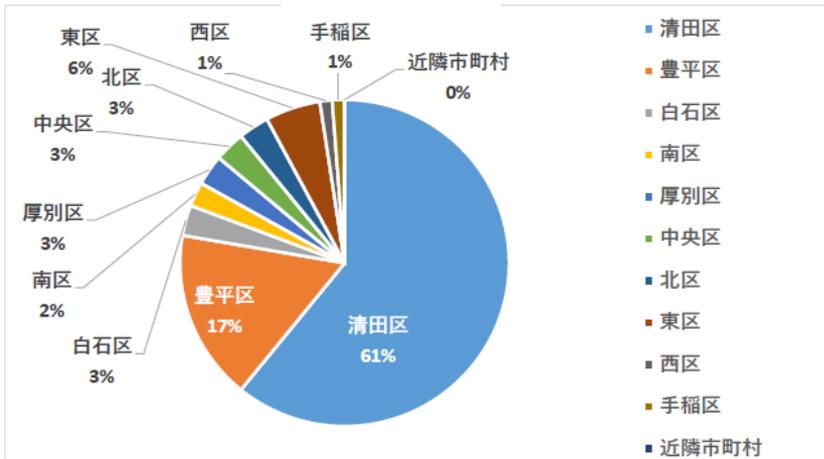
春・秋学期 延受講者数	春学期	秋学期
語学科目 (対面授業)	44人	37人
学生との共学科目 (対面授業)	43人	42人

◆年代別受講者数



年代	春学期	秋学期
30代	2	0
40代	1	1
50代	11	6
60代	27	28
70代	23	26
80代	4	2
計	68人	63人

◆地域別受講者数



地域	春学期	秋学期	計	%
清田区	59	42	101人	60.8%
豊平区	12	16	28人	16.9%
白石区	2	3	5人	3.0%
南区	1	3	4人	2.4%
厚別区	2	3	5人	3.0%
中央区	3	2	5人	3.0%
北区	3	2	5人	3.0%
東区	4	5	9人	5.4%
西区	0	2	2人	1.2%
手稲区	1	1	2人	1.2%
近隣市町村	0	0	0人	0.0%
計	87人	79人	166人	

◆社会人教養楽部受講者数の推移

